

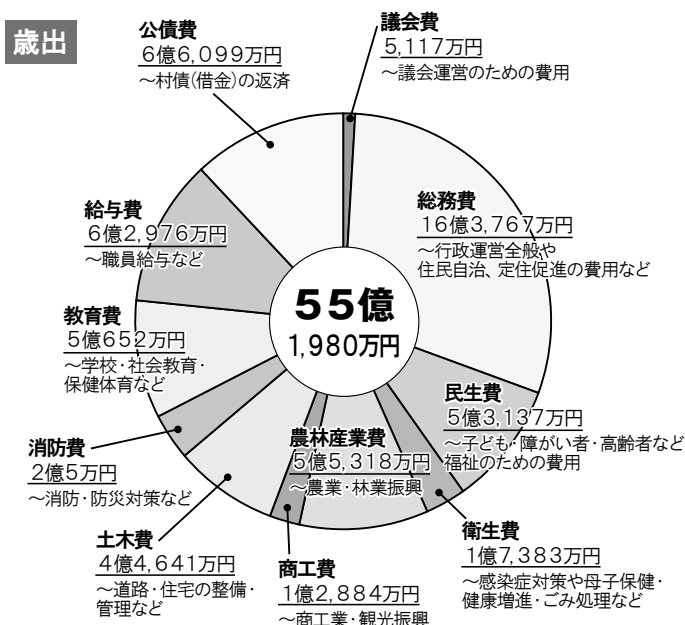
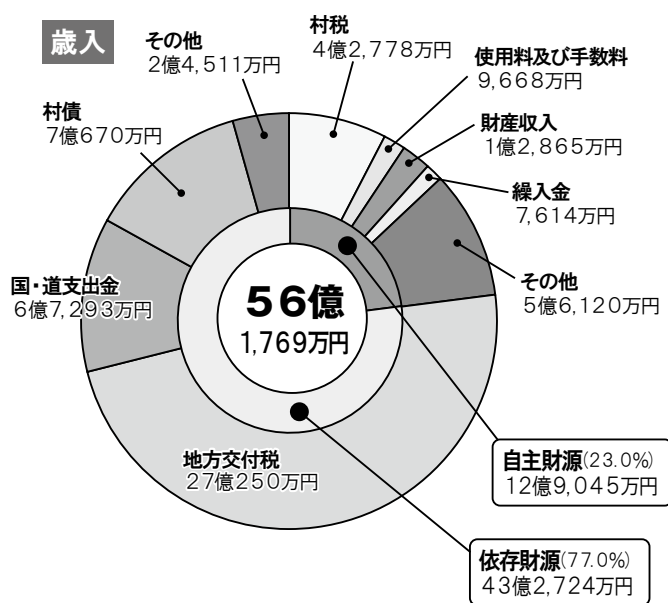
令和7年度 村の決算を報告します

令和7年度の決算が9月議会定例会で認定されました。

村が行うさまざまな事業は、みなさまが納める税金や国・道からの補助金などを財源に行っています。今回の特集では、令和7年度決算を振り返り、どれくらいの収入があり、どのような目的に活用されたのか、その概要をお知らせします。※金額は千円単位を四捨五入して万円単位で統一しています。

一般会計

歳入	歳出	翌年度へ	
56億1,769万円	55億1,980万円	439万円繰越	= 9,350万円の黒字
前年度比+10.8%	前年度比+10.9%		



【主な増減】

- 地方交付税+2億4,381万円 (+9.9%)
…経済対策等に関する追加交付など
- 寄附金+2億4,263万円 (+161%)
…ふるさと納税寄附金(音羽橋周辺エリア寄附金)の増など
- 村債 △1億6,616万円 (△19%)
…鶴居中学校大規模改修事業に対する借入の減など

【主な増減】

- 総務費 +7億3,038万円 (+80.5%)
…総合センター機能改善、分譲地造成事業の増など
- 教育費 △4億6,365万円 (△47.8%)
…鶴居中学校大規模改修事業の減
- 公債費 +1億4,349万円 (+27.7%)
…総合体育館整備等に関する村債(借金)の元金返済開始

どのような性質の経費に支出したのか

人件費	職員給与・議員や委員の報酬など	7億8,107万円	14.2%
扶助費	医療給付費や障がい者への援助費など福祉のための経費	2億1,707万円	3.9%
公債費	村債(借金)の返済経費	6億6,099万円	12.0%
普通建設事業費	道路・学校など社会資本の整備にかかる経費	13億9,208万円	25.2%
物件費	公共施設の光熱水費、事務費や委託料、備品購入などの経費	8億8,870万円	16.1%
補助費等	各団体への補助金や負担金、保険料、謝礼金など	8億4,619万円	15.3%
繰出金	特別会計の収支不足額などを一般会計から補てんする経費	2億52万円	3.6%
その他	施設の維持補修費、基金の積立金などの経費	5億3,318万円	9.7%

村民一人あたりの決算額は 233万円 となります！

※ R 8. 3. 31 住基人口 2, 361 人 (以降同様) ※ 一般会計のみで算出

福祉サービスの提供 23万円	教育の充実 22万円	商工業・観光振興 6万円	農業・林業振興 23万円	消防・救急・防災活動 8万円
感染症対策・健康増進 2万円	ごみ・し尿の処理など 3万円	道路・公園・住宅の整備など 19万円	借入金返済 28万円	その他の村民サービスなど 99万円

一般会計における主な事業

● 総合センター機能改善事業 (R 8 年度までの継続事業) 【決算額：1億9,609万円】

総合センターの老朽設備の改修や、利便性向上のための機能改善工事を実施。

※財源は返済額の7割が国から補てんされる財政的に有利な過疎債(借金)を活用しています。



● 希の杜第2期分譲地整備事業 【決算額：1億7,942万円】

令和8年7月より販売開始した、下幌呂希の杜第2期分譲地の道路整備、宅地造成工事を実施。

※財源は返済額の8割が国から補てんされる財政的に有利な過疎債(借金)を活用しています。



● 各小学校・福祉施設冷房設備整備事業 【決算額：3,960万円】

鶴居・下幌呂小学校及び高齢者福祉住宅に暑さ対策として、冷房設備の整備を実施。



● 主なソフト事業

- ・「物価高対応生活支援補助金」
4,357万円(村民1人あたり2万円の現金給付)
※その他436万円を令和8年度事業(R7繰越)として実施
- ・「物価高対応お米券配布事業」
432万円(お米券の配布3千円/世帯(子ども世帯2千円加算))
- ・「物価高騰対策支援給付金事業」
21,741万円(定額減税不足額給付・住民税非課税世帯等に対する給付金)
- ・「音羽橋周辺エリア土地購入事業」
8,639万円(景観保護を目的とした土地購入・補償金等)
※全額寄附金を活用
- ・「介護老人保険施設経営支援補助金」
4,134万円(村内介護老人保険施設運営支援補助金)

特別会計

特別会計とは、特定の事業を行うために、一般会計と分けて設けた会計です。

企業会計

企業会計は、事業を健全かつ安定的に運営するため、法令に基づき、事業の収入で費用をまかなう独立採算を原則に運営される会計です。

[収益的収支]: 利用料金や維持管理など日常の営業活動に要する費用の収支

[資本的収支]: 施設建設・改良費など将来への投資に要する費用の収支

※差引の不足額は企業会計適用前の特別会計からの引継金、企業債等により補てんしています。

会計名	歳入決算額	歳出決算額	実質収支額
国民健康保険	3億1,419万円	3億256万円	1,163万円
村立診療所	3,517万円	3,517万円	万円
介護保険	3億334万円	2億6,162万円	4,172万円
後期高齢者医療	5,355万円	5,307万円	48万円
合計	9億1,686万円	8億9,699万円	1,987万円

(税込表示)

会計名及び区分	収入決算額	支出決算額	差引
簡易水道事業	収益的収支 9,747万円	1億176万円	△429万円
	資本的収支 3,501万円	5,206万円	△1,705万円
農業集落排水事業	収益的収支 7,813万円	7,936万円	△123万円
	資本的収支 万円	1,139万円	△1,139万円
合計	収益的収支 1億7,560万円	1億8,112万円	△552万円
	資本的収支 3,501万円	6,345万円	△2,844万円

村の財政診断の結果は・・・財政状況は健全です！

令和7年度決算を基に、村の財政の健全度を示す財政4指標を算出すると、いずれの指標も健全な財政基準となっています。今後も効果的かつ効率的な財政運営に努めます。 ※ が村の数値です。

財政の健全度を示す4つの指標		健全 悪化	
		早期健全化判断基準 財政再生基準	
実質赤字比率 一般会計などの赤字割合	0%	15% イエローカード	20% レッドカード
連結実質赤字比率 全会計の赤字割合	0%	20% イエローカード	30% レッドカード
実質公債費比率 借金返済額の大きさを示す割合	6.7%	25%	35%
将来負担比率 村の財政規模に対して将来負担が見込まれる負債などの大きさを示す割合	0%	350%	

村の貯金（基金）と借金（村債）の状況は？

●貯金（基金）残高

77億1,661万円（前年比+3億3,681万円）
村民一人あたりに換算すると・・・約327万円

・ふるさと納税寄附金や歳計余剰金の積み立てをしたことから、前年度と比較して増加しました。

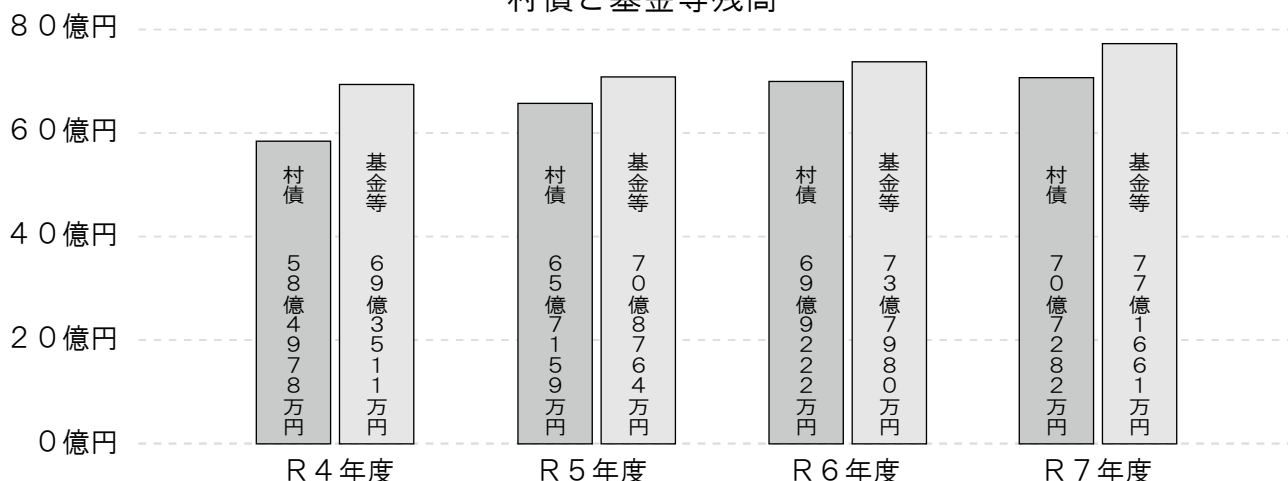
●借金（村債）残高

70億7,282万円（前年比+8,060万円）
村民一人あたりに換算すると・・・約300万円

・総合センター機能改善事業や希の杜分譲地整備事業に対して大規模な借入れを行ったことから、前年度と比較して増加しました。

令和7年度末残高では **貯金が借金を6億4,379万円上回る** 状況となっています。

村債と基金等残高



令和7年度末村債残高	
一般会計	67億9,057万円
簡易水道事業会計	2億238万円
農業集落排水事業会計	7,987万円
計	70億7,282万円

令和7年度末基金等残高	
基金(全会計の17基金)	58億9,183万円
備荒資金組合基金	18億2,478万円
計	77億1,661万円